

News release (仮訳)

スイス・リー、再保険事業の成長と優れた運用実績を背景に、2019年9ヶ月累計の純利益が23%増加

- グループの純利益は 13 億米ドルで、11 億米ドルから増加
- 損害再保険事業(P&C Re)の純利益は 39%増の 8 億 8,000 万米ドルを計上。コンバインド・レシオは 101.4%、株主資本利益率(ROE)は 11.8%
- 生命・医療再保険事業(L&H Re)は堅調で、6 億 5,100 万米ドルの純利益を計上、ROE は 11.8%
- コーポレート・ソリューションズは、経営改革の影響と、中規模および大規模な人災および自然災害の保険金支払を反映して、4 億 4,100 万米ドルの純損失を計上
- ライフ・キャピタルの純利益は 4,000 万米ドル、例外項目により 8 億 3,100 万米ドルの総キャッシュフローを確保
- 投資収益率(ROI)は非常に堅調で 4.3%、直接利回りは 2.9%と安定
- グループのスイス・ソルベンシー・テスト(SST)比率は 241%で力強さを維持(2019 年 7 月 1 日時点の見積値)

チューリッヒ、2019 年 10 月 31 日 – スイス・リーは、2019 年 1~9 月期のグループ純利益が 13 億米ドルとなり、再保険事業の成長と優れた運用実績を背景に、前年同期の 11 億米ドルから 23%増加したことを発表しました。当グループの損害再保険事業は、自然災害および人災による 17 億米ドルにのぼる大規模な保険金支払の影響を受けましたが、生命・医療事業は引き続き堅調な業績を達成しました。正味既経過保険料および手数料収入は、特に損害再保険料の増加により前年比 10%増加して、284 億ドルとなりました。グループの ROE は 6.0%で、資本基盤は依然として非常に堅調でした。

スイス・リーのグループ最高経営責任者クリスチャン・ムーメンターラーは次のように述べています。「当社のビジネスの強みであるグローバル・リーチ、リスクの分散化および強固な資本基盤により、本年 1~9 月の間に発生した大規模な自然災害や人災で被災した当社のクライアントとそのお客様に迅速に対応し、支援することができました。再保険事業部は、厳しい市場環境下でありながら、収益性の高い成長を達成しました。コーポレート・ソリューションズの変革は進行中であり、ライフ・キャピタルは堅調な総キャッシュフローの恩恵を受け続けています。市場における当社の優位な地位と年初からの料率の前向きな動きに基づき、次の更改時期も自信を持って臨むことができます。」

スイス・リーの 2019 年 1~9 月期における ROI は 4.3%でした。これは前年同期の 2.8%からの増加です。この増加は株式市場での堅調なパフォーマンス

Media Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 7171


New York
Telephone +1 914 828 6511

Singapore
Telephone +65 6232 3302

Investor Relations,
Zurich
Telephone +41 43 285 4444

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999

www.swissre.com
 @SwissRe

マンスを反映しており、ブラジルでの投資先である保険グループ SulAmérica S.A の株式売却による大幅な利益や、債券ポートフォリオの利益も含まれています。運用利回りの低下という逆風にもかかわらず、9ヶ月間におけるグループ保有の債券の直接利回りは 2.9%と引き続き安定していました。

スイス・リーのグループ SST 比率は 241% (2019 年 7 月 1 日時点の見積値) で目標の 220% を上回り、非常に強固な資本基盤を維持しています。2019 年 1 月 1 日時点での 251% からの減少は、収益性の高い事業成長への資本展開、予定されていた株主への資金の還元、そして低金利の影響を反映していますが、利益の上昇により一部相殺されました。

資本展開、2019 年の重大な自然災害による損失、および ReAssure 社の新規株式公開を中止したことを考慮して、取締役会は、自己株式公開買付の第 2 トランシェを開始しないことを決定しました。2019 年 5 月 6 日に開始された上限買付価格 10 億スイス・フランの自己株式公開買付の第 1 トランシェは順調に進んでおり、2019 年 9 月 30 日現在で 60% 以上がすでに完了しています。

スイス・リー・グループのジョン・デイシー最高財務責任者は次のように述べています。「本年 1~9 月期のグループの業績は、当社の営業基盤が堅調であることを確認するものとなりました。事業に影響を及ぼす複数の大規模な自然災害と人災に見舞われたものの、当社の資本基盤は強固な状態を維持しており、プライシングが改善傾向にある中で成長機会を活用することができます。」

収益性の高い成長と強力な運用実績に支えられた損害再保険 (P&C Re) 事業

損害再保険事業の本年 1~9 月期の純利益は、収益性の高い事業成長と強力な運用実績に支えられ、39% 増の 8 億 8,000 万米ドルを計上しました。正味既経過保険料は、大型取引と自然災害保険事業の伸びが奏効して、17% 増の 142 億米ドルとなりました。ROE は 8.3% から 11.8% に改善しました。コンバインド・レシオは 101.4% でした。損害再保険事業は、2019 年に標準化コンバインド・レシオ 98%¹ を達成するべく順調に推移しています。

引受実績は、今年の台風「ファクサイ」(令和元年台風第 15 号) での約 4 億 6,000 万米ドル、および大西洋のハリケーン「ドリアン」での約 3 億米ドルを含む、自然災害に起因する 11 億米ドルもの大規模な保険金支払の影響を受けました。スイス・リーは、台風「ファクサイ」で約 70 億米ドル、ハリケーン「ドリアン」で約 45 億米ドルにのぼる保険損害額を推定しています。大規模な人災に起因する支払保険金額は 3 億 1,000 万米ドルにのぼると見

¹前年度の準備金の推移を考慮せず、平均的な大規模自然災害に伴う損失負担を想定。

込んでいます。これにはエチオピア航空の墜落事故およびその後のボーイング 737Max 機の運航中止や、トーマス・クック社の強制清算が含まれます。引受実績は、第一四半期に台風「チービー」(平成 30 年台風第 21 号)による遅延保険金支払の発生からも影響を受けました。これは、市場全体の大幅な損失の増加と一致するものです。

生命・医療再保険事業は引き続き堅調

生命・医療再保険事業の純利益は、積極的なポートフォリオ運用と米州での死亡率の改善により、この 9 ヶ月間で安定した純利益 6 億 5,100 万米ドルを達成しました。この結果は、堅調な運用実績にも支えられています。ROE は、事業セグメントの目標範囲に沿って 11.8%でした。正味既経過保険料および手数料収入は、95 億米ドルと安定しています。これには、為替差損およびライフ・キャピタルとのグループ内再々保険契約の終了による影響が含まれます。これら 2 項目の影響を調整すると、正味既経過保険料は 5.6%の伸びとなります。

コーポレート・ソリューションズの業績は、経営改革の影響と、中規模および大規模な人災と自然災害の保険金支払を反映

コーポレート・ソリューションズは 4 億 4,100 万米ドルの純損失を計上し、コンバインド・レシオは 127%でした。これは、2019 年 7 月 31 日に発表された事業を再配置するための経営改革の影響と、中規模および大規模な人災と自然災害の保険金支払の影響を受けたものです。9 ヶ月間における人災および自然災害に起因する約 2 億 9,000 万米ドルの大規模な損失には、ハリケーン「ドリアン」による多額の保険金支払と、第 3 四半期に経営破綻したトーマス・クック社の強制清算によるものが含まれます。

正味既経過保険料は 7.6%増の 31 億米ドルとなりました。主な増加要因は財物および信用保険種目の伸びと保険料率の上昇で、これらはいくつかの引受ポートフォリオの積極的な削減によるマイナス効果を上回りました。コーポレート・ソリューションズは、特定種目のリスク・エクスポージャーを積極的に引き下げ、より焦点を絞った収益性の高いポートフォリオを構築するべく取り組んでまいります。スイス・リーは、2019 年 1~9 月期に適正料率が幅広い品目で 10%上昇したことを踏まえて、企業保険の保険料率における前向きな傾向が今後も継続すると予想しています。

ライフ・キャピタルはクローズドブックの堅調な業績とオープンブック事業のダイナミックな成長を報告

ライフ・キャピタルは、オープンブック事業の成長への投資による費用で一部相殺されたものの、クローズドブックの好調な業績の恩恵を受け、今年 1~9 月で 4,000 万米ドルの純利益を計上しました。8 億 3,100 万米ドルという極めて高い総キャッシュフローが創出されたのは、ReAssure 社が発行した劣後債の売却と、ReAssure 社に対する 10%の持ち分を MS&AD インシュアランス・グループ・ホールディングス株式会社へ売却したことによるもので、著しく不利な市場の状況および ReAssure 社の資本再構成の影響により一部相殺されました。

正味既経過保険料および手数料収入は、オープンブック事業の成長とグループ内再々保険契約の変更により、16億米ドルに増加しました。為替変動の影響を除くと、オープンブック事業の総収入保険料は前年同期比で21%伸びました。

今後の見通し

スイス・リー・グループのクリスチャン・ムーメンターラー最高経営責任者は、次のように述べています。「2019年は、これまでにすでに大西洋と太平洋の両方で猛烈な嵐が発生し、地域コミュニティに大きな被害をもたらしました。この災害で被害を受けた皆様に心からお見舞いを申し上げます。こうした過酷な状況を目にするたび、効果的な保険へのアクセスが世界中で必要になっていると改めて思い知らされます。当社は、手頃な価格帯の革新的なテクノロジー・ベースのソリューションを開発するため、パートナーシップ育成に今後も引き続き注力していきます。これにより補償ギャップを埋め、リスクの専門知識を活用し、新たな成長源としていきたいと考えています。」

2019年1～9月期の業績詳細

		2018年1 ～9月期	2019年1 ～9月期
グループ連結 (総額)	正味既経過保険料および手数料収入 (百万米ドル)	25 802	28 443
	純利益(百万米ドル)	1 090	1 343
	株主資本利益率(%、年率換算)	4.7	6.0
	1株当たり利益(米ドル)	3.53	4.52
	投資収益率(%、年率換算)	2.8	4.3
	直接利回り(%、年率換算)	2.9	2.9
	純資産の部 (百万米ドル)	28 995	31 680
	普通株1株当たりの簿価(米ドル)	95.62	108.31
損害再保険	正味既経過保険料 (百万米ドル)	12 199	14 213
	純利益(百万米ドル)	634	880
	コンバインド・レシオ(%)	99.5	101.4
	株主資本利益率(%、年率換算)	8.3	11.8
生命・医療再保険	正味既経過保険料および手数料収入 (百万米ドル)	9 502	9 494
	純利益(百万米ドル)	644	651
	直接利回り(%、年率換算)	3.4	3.4
	株主資本利益率(%、年率換算)	12.5	11.8
コーポレート・ ソリューションズ	正味既経過保険料 (百万米ドル)	2 887	3 105
	純利益(百万米ドル)	-5	-441
	コンバインド・レシオ(%)	105.4	127.0
	株主資本利益率(%、年率換算)	-0.3	-29.8
ライフ・キャピタル	正味既経過保険料および手数料収入 (百万米ドル)	1 214	1 631
	純利益(百万米ドル)	4	40
	株主資本利益率(%、年率換算)	0.1	0.9
	総キャッシュフロー(百万米ドル) ²	993	831

²総キャッシュフローとは、当該報告期間中にライフ・キャピタル事業部門の営業活動が創出した正味キャッシュの推定値であり、剰余金の推移と特定の資本政策の両方を考慮しています。スイス・リーとMS&ADの各々が保有するReAssure社の持ち分をグロスで合算した値です。

スイス・リーについて

スイス・リー・グループは世界のレジリエンス向上を目指し、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。自然災害および気候変動、また高齢化社会からサイバー犯罪に至るまで、さまざまなリスクの予想と管理を行っています。スイス・リー・グループの目標は、お客様のために新しい機会とソリューションを生み出し、社会のさらなる繁栄と発展を可能にすることです。1863年にスイスのチューリッヒで創業したスイス・リーは、世界約80拠点にて事業を展開しています。大きく3つの事業部門に分かれて運営を行い、それぞれの事業部門がグループ全体の理念に寄与する独立した戦略と目標を掲げています。